

第4次鎌倉市子ども読書活動推進計画の概要（令和5年度～令和7年度）

◆計画の目標

子どもたちが求めるときに自由に本を選び、本に接することができる、そして、本の探し方や本の楽しさを伝えてくれる人のいる、豊かな読書環境を、家庭・地域、学校、図書館・行政機関が連携して整備していくことを目標とします。

◆基本方針

1 読書の楽しさを伝えることを応援します

子どもと本・情報をつなぐ取組を行い、本の楽しさを伝えていきます。

2 どこでも読書を応援します

誰もがどこでも読書を楽しめるような、バリアフリーな環境を整えます。
子ども読書パックの活用とデジタル資料へのアクセスを支援します。

3 子どもと本をつなぐ人たちを応援します

学校・地域・図書館・行政機関など、まわりの大人たちが子どもたちの読書の応援団になれるよう子どもの読書を推進する取組を行っていきます。どのような応援の連携があるかも見える化していきます。



第4次計画の重点取組事業

1 読書バリアフリーへの取組

- ・読書バリアフリーについて、広く知ってもらう取組
- ・特別なニーズのある子どもに関わる施設等への聞き取りとニーズにあわせたサービスの検討
- ・マルチメディアデジターなどの録音図書・LLブック、布絵本のPRと活用の充実
- ・録音図書等を特別支援学級や障害児活動支援センターへ貸出するサービスの実施
- ・特別支援学校や障害児施設を対象とし、図書館を利用しづらい子どもたちのニーズに合わせたサービスの実施等
- ・入院中の子どもたちを含む医療ケア児へのサービスの研究
- ・海外にルーツのある子どもたちへのサービス
- ・手話付きおはなし会などのバリアフリーおはなし会や多言語でのおはなし会や、多文化サービスの充実

2 紙資料とデジタル資料によるハイブリッドな情報活用

- ・モデル校を設定し、紙資料とデジタル資料を併用した調べ学習の検討
- ・電子書籍の導入の検討 ・Wi-Fi環境の整備の検討
- ・教員や図書館司書を対象とした情報リテラシー研修の実施
- ・子どもたち自身が様々な媒体を使って、自律的な学習ができるようサポート

3 ヤングアダルト世代への読書活動支援

- ・読書に関する情報を中高生が自ら発信できる場の充実
- ・学校図書館でのデータ活用及び蔵書数・蔵書内容の充実
- ・中学校図書館がなるべく多く開館し、中学生と読書・図書館を結びつけるよう機能の充実を図る
- ・利用しやすい学校図書館づくり ・ヤングアダルト対象の行事の開催

4 子どもたちのニーズに対応できる施設・サービスの検討

- ・居場所としての図書館機能を充実させる
- ・新たな図書館の整備に向けて、子どもも利用しやすいゾーニングの検討。「にぎやかな図書館」をめざす

第4次鎌倉市子ども読書活動推進計画の進捗状況

前回の連絡会議後に行った鎌倉市図書館の主な行事等について、ご報告します。

ビブリオバトル@図書館～あなたの推し本をおしえて！～

令和7年（2025年）1月18日（土）13:45～16:10（16:20～16:50 交流会）

バトラーは、公募1名（小6）と栄光学園9名、清泉女学院7名の合計17名が参加。

ギャラリー含め、60名ほど参加。

まずはA～Dのグループ（4～5人ずつ）に分かれ、ワークショップ型でビブリオバトルを行い、そのグループでチャンプ本になった本で決勝戦として、ステージ型のビブリオバトルを行いました。

各グループのチャンプ本（★ ステージ型のチャンプ本）

Aグループ 『二人一組になってください』（木爾チレン／双葉社／2024.9）

Bグループ 『できそこないの男たち』（福岡伸一／光文社／2008.10）

★Cグループ 『アリアドネの声』（井上真偽／幻冬舎／2023.6）

Dグループ 『題未定—安部公房初期短編集—』（安部公房／新潮社／2013.1）

What's ビブリオバトル

バトラー（発表者）は、紹介したい本を用意します。



本の紹介タイム（5分間）

バトラーは本に対する想いを伝えよう！



質疑応答タイム（2分間）

バトラーに質問して、理解を深めよう。



発表が終わったら、バトラーと、観戦者（見学者）全員で『1番読みたい!』と思った本に投票するよ。



チャンプ本が決定！



鎌倉市図書館では、これまで、教員研修やおはなしボランティアとの交流会、中学生の職場体験などでビブリオバトルを行ってきましたが、正式に大会として開催したのは初めてでした。今年度は年度当初から市内の高校を訪問し、栄光学園、清泉女学院の2校の協力を得ることができ、無事に開催に至りました。ビブリオバトル後の交流会では、司会やタイムキーパーをやりたいとの声もあがり、来年度は中高生主体で実施できる道を探っていきたいです。

惜しくもチャンプ本にはならなかったけど、みんなの推し本を紹介します。

- 『52 ヘルツのクジラたち』(町田そのこ／中央公論新社／2020.4)
『フィッシュストーリー』(伊坂幸太郎／新潮社／2007.1)
『本好きの下剋上 第4部【9】』(香月美夜／TO ブックス／2020.1)
『ここはボツコニアン』(宮部みゆき／集英社／2012.2)
『物語のおやつ』(松本侑子／WAVE 出版／2003.9)
『小説 千本桜』(一斗まる／アスキー・メディアワークス／2013.3)
『ハリー・ポッターと賢者の石』(J.K.ローリング／静山社／1999.12)
『きこえる』(道尾秀介／講談社／2023.11)
『満月珈琲店の星詠み』(望月麻衣／文藝春秋／2020.7)
『おれは非情勤』(東野圭吾／集英社／2003.5)
『アリス殺し』(小林泰三／東京創元社／2019.4)
『シンデレラ城の殺人』(紺野天龍／小学館／2024.10)
『15歳のテロリスト』(松村涼哉／KADOKAWA／2019.3)

布おもちゃであそぼう！～布えほんのおはなし会～

令和7年(2025年)1月22日(水)10:00～11:45 玉縄図書館

1月26日(日)10:30～12:00 大船図書館

※途中15分程度の布えほんのおはなし会をしました。

バリアフリー図書の一つである、布おもちゃ・布えほんに親しむ機会を作るため、また普段図書館に来館しない人を呼び込むため、企画しました。出入り自由で行いましたが、玉縄図書館はのべ18組37人、大船図書館はのべ16組34人参加がありました。

布おもちゃは、鎌倉市社会福祉協議会から借用しました。中央図書館で購入した布えほんと借用した布えほんでおはなし会を行いました。

「子どもがとても喜んで」「定期的にやってほしい」などの声があり、とてもおはなしコーナーがにぎわった、ひとときでした。

【借用した布おもちゃ・布えほん】

さかなつり、冷蔵庫、ドライブセット、カンガルーの玉入れ、ネットのトンネル、ザクザク、キュービック、『おおきくおおきくおおきくなあれ』(布えほん)

【おはなし会でよんだ布えほん】

(玉縄)『すきなもののなあに?』

『たのしいどうぶつえん』

(大船)『おおきくおおきくおおきくなあれ』

『すきなもののなあに?』



4 第4次 鎌倉市子ども読書活動推進計画取組事業一覧【令和5年度(2023年度)/令和6年度(2024年度)の実施状況】

事業内容		担当(担い手)	令和5年度(2023年度)/令和6年度(2024年度)の実施状況	
1家庭・地域における取組				
1	読書へのきっかけづくり	親子参加型の講演会、市内在住のさまざまな分野の人材による講演会などの催しを地域の協力を得て開催	中央図書館・保育課・こども支援課・青少年課	【令和5年度(2023年度)】 紙芝居文化推進協議会の絵本作家・長野ヒデ子氏他を講師に迎え、紙芝居について講義と実演をしてもらった(2023.6.16 本の海サポーターズ交流会 62人)。 【令和6年度(2024年度)】 長野麻子氏を講師に迎え、「こどもとことば」を開催した(2024.11.おはなしボランティアステップアップ講座だが、一般参加も受け付けた。78人)。
2		★読書に関する情報を中高生が自ら発信できる場づくりを充実	中央図書館	【令和5年度(2023年度)】 中学校の職場体験学習にて、YAコーナーの棚づくりを行った(深沢図書館において大船中、御成中)。 【令和6年度(2024年度)】 ビブリオバトルを玉縄学習センターで実施(2025.1.18実施、のべ60人)。
3		地域で活動している人々やボランティアと協力して、おはなし会などのイベントを開催	中央図書館・関連団体・ボランティア	【令和5年度(2023年度)】 浄明寺子ども会からの依頼で、都市景観課と協力し、旧華頂宮邸で、ハロウィンのおはなし会や本の貸出を行った(2023.10.28 おはなし会31人)。
4		保護者や地域で活動している人々に向けて絵本の読み聞かせ、読書・わらべうたについての情報提供・講座の開催	中央図書館・市民健康課・保育課・こども支援課	【令和5年度(2023年度)】 第一小学校図書ボランティアから依頼があり、読み聞かせ講座を訪問サービス(講師派遣)として行った(2023.11.7 11人)。
5		保護者・保育士・幼稚園教諭を対象とした、「絵本や紙芝居の読み聞かせについての講座」などニーズに合わせた講座の開催	中央図書館・幼稚園・保育園・保育課・認定こども園	長谷幼稚園からの依頼で、読書会の絵本の選定などを行った。 【令和6年度(2024年度)】 長谷幼稚園に訪問サービス(講師派遣)をし、「絵本・図書館の魅力」について講義をし、その後懇談した(2024.6.13 21人)。

6	読書へのきっかけづくり	妊婦向けおはなし会の開催	中央図書館・市民健康課	2024年1月からはあかちゃんと楽しむおはなしかいに妊婦とその家族も参加できるようにした。大船図書館の2024年11月実施の会に妊婦の参加があった。 【令和5年度(2023年度)】 玉縄図書館でおなかのあかちゃんと楽しむおはなしかい(妊婦向けおはなしかい)を実施(2023.12.16 3組4人)。 【令和6年度(2024年度)】 玉縄子育て支援センターと共催で「おなかのあかちゃんと、よちよち歩きのあかちゃんと楽しむおはなしかい」を実施。(2024.8.1 38人)
7		ブックスタート事業の実施	中央図書館・市民健康課・こども支援課	2005年から継続実施。6か月児育児教室で行っている。時間が前より短くなったので、コロナ禍で始めた、ブックスタート・フォローアップ(図書館内で1対1で行う読み聞かせやわらべうた)も継続している。 【令和6年度(2024年度)】 9月から試行で多言語訳のついた絵本を、海外にルーツのある子どもに配付している。
8		幼稚園・認定こども園・保育園での絵本の読み聞かせ、本の紹介の充実	幼稚園・保育園・保育課・認定こども園	施設向けに実施したアンケートの結果からも読み聞かせなどを実施している様子が伺える。
9		子育てサークルや保育園・幼稚園、子育て支援センター、放課後子どもひろば・子どもの家等へのおはなし会などの訪問サービスのPRと充実	中央図書館・幼稚園・保育園・認定こども園・こども相談課・青少年課	市内の子育て支援センターのうち4館に月に1度、近くの図書館から訪問サービスとしておはなし会を実施している。図書館から遠い地域では、絵本の貸出も行っている。 【令和6年度(2024年度)】 図書館から遠い地域の放課後かまくらっ子・うえき、せきやへ訪問サービスを実施した。放課後かまくらっ子・うえきは夏休み、冬休みに図書館を訪問するプログラムを実施。1・2年生と3年生以上で各10名程度ずつ来館。放課後かまくらっ子・せきやへは3回訪問(4月、9月に訪問。3月も予定している)。
10		「どくしょのノート」(読んだ本を記入していく冊子)の配付	中央図書館	ホームページからダウンロードできるようにしている。また、こどもの読書週間のクイズの景品にしたり、図書館見学で配布したりしている。
11	子どもに関わる施設	子育て支援センターの蔵書の充実(市内の全ての施設での充実)	中央図書館・こども相談課	希望した施設へは、寄贈本やリサイクル本の譲渡を行った(2024.1~2/2024.11~12実施)。
12		放課後子どもひろば・子どもの家の蔵書の充実(市内の全ての施設での充実)	中央図書館・青少年課	希望した施設へは、寄贈本やリサイクル本の譲渡を行った(2024.1~2/2024.11~12実施)。

13	設 の 充 実	保育園の図書コーナーの充実 (市内の全ての施設での充実)	中央図書館・保育課・保 育園・認定こども園	希望した施設へは、寄贈本やリサイクル本の譲渡を行った(2024.1~2/ 2024.11~12実施)。
14	情 報 の 収 集 と 発 信	保護者に向けた、本や図書館のPRの充実	中央図書館・小学校	玉縄子育て支援センターのおはなし会では、3か月に一度保護者に向けて絵本を 1冊読んだり、ブックリストの配付を行っている。 【令和6年度(2024年度)】 幼稚園・保育園・認定こども園に図書館のおはなし会の日程を配付。
15	情 報 の 収 集 と 発 信	読書に関する情報を「かまくら読書活動支援セ ンター」で積極的に収集	中央図書館	学校図書館ポータルサイト「探調COMMU」で図書館と学校図書館がつながるこ とができ、様々な情報交換をしている。
16		市ホームページの子育て支援情報のページな ど、インターネットを活用した子どもの読書に 関する支援情報のPR	中央図書館・市民健康課	図書館ホームページでおすすめの本を紹介している。 ラインでおはなし会や行事のPRをしている。
17		読書関連のイベント情報やPRなど、情報発信 の場としてケーブルテレビ・FM局などの地元 メディアやツイッターを活用	中央図書館	X(旧ツイッター)で行事について発信し、PRしている。 【令和6年度(2024年度)】 鎌倉朝日に「としよかんいんになってみよう」の募集記事掲載。
18		本の紹介リストを「かまくら子育てメディアス ポット」等市内各所で配布、インターネットで配 信	中央図書館	本の紹介リストの配付、配信を継続的に行っている。
19		図書館司書と幼稚園教諭・保育教諭・保育士と が情報交換ができる場の設定	中央図書館園・幼稚園 保育園・保育課 認定こども園	〈再掲〉【令和6年度(2024年度)】 長谷幼稚園に訪問サービス(講師派遣)をし、「絵本・図書館の魅力」について講義 をし、その後懇談した(2024.6.13 21人)。

2学校における取組

20	読 書 へ の き つ か け づ	学校での読書環境づくりのための子ども同士 のブックトークの支援・本の紹介リストの配布 など	小学校・中学校・高等学 校・中央図書館	夏休みの前に図書館から、おすすめの本の紹介リスト「よんでみない？」を提供 し、学校で配布。 【令和5年度(2023年度)】 学校図書館部会へ参加し、ブックトークの実演を行った(2024.1)。
21		学級文庫の充実(子ども読書パックの活用) 学校図書館の利用方法の指導・調べ学習への 支援	小学校・中学校・高等学 校・中央図書館	子ども読書パックを貸出。学校でも学級文庫の充実に努めている。

22	く り	調べ学習のための資料の充実(学習パックの活用)	小学校・中学校・高等学校・中央図書館	学習パックや学校貸出セットを貸出。学校図書館でも資料の充実に努めている。
23	学 校 図 書 館	★学校図書館でのデータの活用及び蔵書数、蔵書内容の充実	小学校・中学校・高等学校・教育指導課	さらなる蔵書数や蔵書内容充実のため、予算の確保に努めている。
24		学校資料収集方針・選定方針策定の推進	小学校・中学校・教育指導課・中央図書館	学校資料の収集・選定については、司書教諭や担当職員が中心となり、教職員が全体で方針を決定している。
25		★中学校図書館がなるべく多く開館し、中学生と読書・図書館を結びつけるよう機能の充実を図る。	中学校、教育指導課	保護者と協力して放課後の学校図書館開館に努めている中学校もある。
26		★利用しやすい学校図書館づくり。本や図書館に興味を持つよう、学校図書館でテーマ展示を行う。放課後子どもたちが学校図書館に行き、本を借りたり、過ごしたりできるようにする。	小学校・中学校・高等学校	展示を行うなど利用しやすい学校図書館作りは、学校図書館専門員・読書活動推進員が中心に行っている。 保護者と協力して放課後の学校図書館開館に努めている中学校もある。
27	連 携	蔵書の所蔵データを調べものや蔵書管理の効率化につなげるため、相互活用ができるための連携の仕組みづくりへの取組	小学校・中学校・高等学校・教育指導課・中央図書館	－
28		市図書館から小中高等学校図書館への学校貸出しや搬送の充実	小学校・中学校・高等学校・教育指導課・中央図書館	学校へ学習パック等学校貸出を行っている。搬送は委託契約しているが、令和5年度(2023年度)から年18回から27回へ増やすことができた。 【令和5年度(2023年度)】 小学校16校、中学校4校、その他5団体へ、457パック14370冊貸出。
29		学校で、本の読み聞かせやおはなし会、ブックトークなどの訪問サービスの実施 中学校、高等学校に関しては学校図書館見学等の働きかけを継続し、学校司書・司書教諭、教員との情報交換 学校図書館の利用案内等のPR	小学校・中学校・高等学校・教育指導課・中央図書館	【令和5年度(2023年度)】 学校からの依頼により、学校図書館へ訪問し、除籍等のアドバイスをしたり、情報交換を実施している(2023.12 山崎小学校・玉縄小学校 2024.1大船中学校。2024.3小坂小学校訪問)。 図書館部会に参加し、絵本やブックトークの講座を行い、学校司書・司書教諭・教員との情報交換を行った(2024.1)。

30		学校図書館と市図書館の連携の充実(学校司書と市図書館の懇談会の開催など)。中学校・高等学校に関しては、継続した連絡・調整を行う体制作りの検討	小学校・中学校・高等学校・教育指導課・中央図書館	深沢高校とは定期的に連絡をとり、図書館で募集した「図書館de一句」に応募してもらったり、高校から提供される「KO本」の展示を実施した。 鎌倉市教職員対象図書館実務研修の際に、教員や学校司書と懇談の機会をもった(2023.7/2024.8)。 図書館部会に参加し、学校司書や教員と懇談できた(2024.1/2024.11)。 【令和6年度(2024年度)】 年度当初に県立高校4校と私立中学高校2校へ訪問し、学校司書と情報交換をした。私立中学高校の2校とはポップ展示や「図書館de一句」などその後の行事でも連携し、ビブリオバトルの開催にも結び付いた。
----	--	--	--------------------------	---

3図書館・行政機関における取組

31	施設	乳幼児と一緒に来館しやすく、居心地よく過ごせるよう環境整備	中央図書館	アンケートに寄せられた声をもとに、おはなしのへやや児童コーナーのレイアウト変更をするなど、環境整備に努めている。
32		★【新規】居場所としての図書館機能を充実させる。子どもたちが何の目的もなく来られたり、気兼ねなく来館し、自由に本を選び、くつろげる空間とサービスの提供	中央図書館	日々、そのような空間となるよう努力している。特に新しい図書館ではよりいっそう子どもたちの居場所となる図書館を検討している。
33		利用しやすい図書館づくり(配架の工夫やレイアウトの改善、展示など)	中央図書館	各館およそ1カ月に1度は展示を替えている。それぞれの図書館で配架の工夫やレイアウト変更を実施している。
34		子どもの本の案内人である「こどもほんしゅるじゅ」のキャラクター「かますけ」を通して、子どもと本をつなぐ活動の実施	中央図書館	令和3年(2021年)秋に子どもと本をつなぐキャラクターとして誕生した「こどもほんしゅるじゅ かますけ」のバッジをつけて、フロアワークをし、子どもの本の相談にのれるよう、気を配っている。
35		★【新規】新たな図書館の整備に向けて、子どもも利用しやすいゾーニングの検討。「にぎやかな図書館」をめざす	中央図書館	新しい図書館の検討では、子どもも利用しやすいゾーニングを考えている。
36	資料	蔵書数、蔵書内容の充実	中央図書館	ブックフェアなどで本を手にとって確認して選書するなどし、蔵書内容の充実に努めている。
37	読書相談	リクエストへの対応・レファレンス(調べ物や読書相談)への対応の充実	中央図書館	子どもや周りのおとなからのリクエストやレファレンスへは図書館5館で協力いて取り組んでいる。フロアワークをして子どもが声をかけやすい状況をつくるようにしている。

38	行事	子どもと本をつなぐ行事の充実(こどもの読書週間における子どもの参加型の行事、一日図書館員など)	中央図書館	コロナ禍で中止していた「としょかんいんになってみよう(一日図書館員)」「ぬいぐるみのおとまり会」など実施した。(2023/2024)
39		各館で開催している年齢別おはなし会(あちゃんと楽しむおはなしかい(0・1歳向け)、おひざにだっこのおはなしかい(2・3歳向け)、おはなし会(4歳以上)の充実	中央図書館	平日に開催しても人数が集まらない図書館では、土日に実施することで参加人数が増えるなど、工夫し、効果がでている。
40		図書館見学・職場体験などを通して、子どもたちが図書館に親しむ機会を提供	中央図書館・小学校・中学校	図書館見学は主に休館日に受入している。職場体験は2023年度から再開した。
41		★ヤングアダルト対象の行事の開催	中学校・高等学校・中央図書館	夏に小中学生、高校生を対象に本や図書館や読書をテーマにした俳句・川柳を募集した「図書館de一句」を実施。秋には集まった俳句・川柳を展示し、中央図書館賞・YAサービス賞を決定した(2023/2024)。 【令和6年度(2024年度)】 中学生から20歳までを対象としたビブリオバトルを実施。バトラーは17人参加。ギャラリー含め60人が参加(2025.1.18)。
42	サ ー 訪 び 問 ス	子育てグループや保育園・幼稚園、小・中・高等学校、市内各施設へのおはなし会・ブックトーク・図書館活用講座などの訪問サービスのPRと充実	中央図書館・市民健康課・保育課・青少年課・子ども相談課・小学校・中学校・高等学校	子育て支援センター、中央公園、浄明寺子ども会へおはなし会、小学校へは保護者向けに読み聞かせ講座や本の修理講座などの訪問サービスを実施した。
43	人材	乳幼児・児童・ヤングアダルトサービスにおける図書館司書の専門性の向上	中央図書館	神奈川県主催の生涯学習指導者研修「読書活動実践コース」を受講(2023 1名、2024 のべ3名)。 【令和5年度(2023年度)】日本図書館協会が実施している児童図書館員養成専門講座を2023年は1名受講した。受講内容について、職場研修で報告・共有した。
44		司書教諭をはじめとする教職員・学校司書を対象とした「図書館講座」などの研修・支援の充実	中央図書館・小学校・中学校・教育指導課	「鎌倉市教職員対象図書館実務研修」を実施。 【令和5年度(2023年度)】 外部講師を招き、情報リテラシー講座等を行った。 【令和6年度(2024年度)】 外部講師を招き「紙資料とデジタル資料によるハイブリッドな情報活用について」「デジタルシチズンシップについて」講座を行った。

45	育成	読書活動を推進する「おはなしボランティア」の養成講座やステップアップのための講座を開催	中央図書館	【令和5年度(2023年度)】 おはなしボランティア養成講座はコロナ禍は定員を半減していたが、通常の20人の定員に戻して開催した(2023.10～11 全4回)。 おはなしボランティアステップアップ講座は、季節別読み聞かせにおすすめの本や紙芝居のブックトークを図書館職員が講師となって行った。(2024.2 50人) 【令和6年度(2024年度)】 5年に一度の連続講座として、おはなしボランティアステップアップ講座を秋に4回実施した。そのうち1回は一般参加可の講演として長野麻子氏「こどもとことば」を開催した(のべ115人参加)。
46	連携	「かまくら読書活動推進センター」の機能及び支援情報のPRの充実	中央図書館	かまくら読書活動推進センターの看板を各図書館で掲示し、PRしている。
47		「鎌倉市子ども読書活動推進計画に関する連絡会議」の充実	中央図書館・教育指導課・こども支援課・青少年課・保育課・発達支援室・小学校・中学校・高等学校・幼稚園・保育園	令和5年度(2023年度)から計画策定の時期だけでなく、市民委員を募集し、連絡会議を構成した。任期を3年とすることで、より効率的で活発な意見交換の場になるようにした。
48		幼稚園・保育園・学校等への読み物を中心とした本をセットにした「子ども読書パック」、活用頻度の高いテーマの関連した本を集めた「学習パック」などのPRと資料の充実	中央図書館、幼稚園、保育園、小学校、中学校	子ども読書パック、学習パックともにすでに需要は高いが、機会を捉えてPRしている。毎年少しずつだがパックを増やしたり、更新したりしている。
49		「本の海サポーターズ交流会」の開催など、ボランティア同士の情報交換の場の設定	中央図書館、ボランティア	【令和5年度(2023年度)】 紙芝居文化推進協議会の絵本作家・長野ヒデ子氏他を講師に迎え、紙芝居について講義と実演をしてもらった(2023.6.16 62人)。 【令和6年度(2024年度)】 ボランティアグループの事例発表と、おすすめの絵本についてグループワークを行った(2024.6.28 35人)。
50	地域性を活かして	子ども向け地域資料の充実(近代史資料室の子ども向けサービスを考案するなど)	中央図書館	鎌倉市図書館で作成した写真記録集『古都鎌倉へのまなざし』の電子書籍化にあたって、学校の授業で使えるよう検討している。
51		地域性を生かした本の紹介リストの作成	中央図書館	【令和6年度(2024年度)】 「かまくらのことをしらべたい」の改訂版の作成を検討している。

52	地域性を活かして	ファンタスティック☆ライブラリー(図書館まつり)の開催	中央図書館、関連団体、ボランティア	【令和5年度(2023年度)】 鎌倉女子大学の学生におはなし会をしてもらったり(社会教育ゼミ生、手話部)、関連団体がおはなし会や「絵本でかるた」なども行った。(2024.2.4～5 中央図書館にて開催) 【令和6年度(2024年度)】 鎌倉女子大学の学生(社会教育ゼミ生、手話部、かるた部)の催し、NPO法人まるまーるの世界のおはなし会、関連団体によるおはなし会や「サンタをさがせ！」などを実施。(2024.12.1～2 中央図書館にて開催)
53		鎌倉らしいイベントの企画や地元書店・地元出版社との連携の充実	中央図書館	鎌倉中央公園の依頼をうけて、未就学児向けに野外おはなし会を年に2回開催している。緑に囲まれた中で、落ち葉や葉っぱを使いながらネイチャーゲームやおはなし会を行っている。(2023・2024) 【令和6年度(2024年度)】鎌倉中央公園のおはなし会を小学生向けにも実施した(2024.12実施4人)
54	大環境を整備の ために 伝える	図書館にちなんだ日「子ども読書の日(4月23日)」「こどもの読書週間(4月23日～5月12日)」「図書館月間(5月1日～5月31日)」「市図書館創立記念日(7月20日)」「文字・活字文化の日(10月27日)」など記念イベントの開催	中央図書館	各図書館で特別なおはなし会の実施や「子どもと本の木」などの展示に取り組んでいる。
55		【新規】「鎌倉市子ども読書活動推進計画」の取組を広くPRする	中央図書館	「第4次鎌倉市子ども読書活動推進計画」を子どもに関わる施設などに送付したり、図書館ホームページに掲載し、取組をPRした。
56	大環境を整備の ために 伝える	市広報・ホームページ・地元メディア・ちらしなどの活用による読書関連情報やイベントのPR	中央図書館	図書館ホームページで、読書関連情報やイベントをPRしている。
57		子どもと保護者・教職員に向けた本や図書館のPRの充実(図書館だよりの発行など)	中央図書館	毎年、おすすめの本の紹介リストを発行している。図書館だよりは年に数回発行している。
58		本の紹介リストの配布、インターネットで配信	中央図書館	ホームページ(こどもページ・ティーンズのページ)に本の紹介コーナーがあり、隔月で更新している。また、本の紹介リストをホームページに掲載している。

59	読書 バリア フリー について	★【新規】読書バリアフリーについて、広く知ってもらおう取組	中央図書館	福祉週間や障害者週間などにバリアフリー関連図書の展示を行った(2023・2024)。 【令和6年度(2024年度)】 12月の障害者週間に合わせ、鎌倉支援学校の児童・生徒による作品展示を全館で行った。鎌倉子ども学園「チューリップ」の展示を玉縄図書館で行った。
60		★【新規】特別なニーズのある子どもに関わる施設への聞き取りとニーズに合わせたサービスの検討	中央図書館	アンケート調査で回答のあった施設の中から毎年3施設ずつ訪問し、ニーズの把握に努めた。訪問サービス(おはなし会)や展示、図書館利用へとつなげた。 【令和5年度(2023年度)】 鎌倉あけぼの園、あおぞら園、PONO KIDS鎌倉 【令和6年度(2024年度)】 小さき花の園、鎌倉子ども学園「チューリップ」、障害児活動支援センター
61		★マルチメディアデージーなどの録音図書やLLブックのPRと活用の充実	中央図書館	福祉週間や障害者週間などにバリアフリー関連図書の展示をおこない、PRした。訪問サービスや施設へニーズ調査へ行った際に、マルチメディアデージーの説明を行いPRした。バリアフリー図書のセットを作成して学校へ貸出するサービスを検討している。
62		★録音図書等を特別支援学級や障害児活動支援センターへ貸出するサービスの実施	中央図書館・特別支援学級・発達支援室	【令和6年度(2024年度)】 鎌倉支援学校や小さき花の園へ訪問サービスに行った際に録音図書デージーの貸出しを行った。
63		★特別支援学校や障害児施設を対象とし、図書館を利用しづらい子どもたちのニーズに合わせたサービスの実施	中央図書館・特別支援学校・発達支援室	鎌倉支援学校へ訪問サービス(おはなし会)を実施。 深沢図書館で児童発達支援・放課後等デイサービスの「PONOKIDS鎌倉」が来館時に、ニーズに合わせたおはなし会をしている。 【令和6年度(2024年度)】 玉縄図書館で児童発達支援・放課後等デイサービスの「鎌倉こども学園『チューリップ』」が来館時におはなし会を行った(2024.10スタッフ含め小学生9人、2024.11スタッフ含め未就学児8人)。障害児活動支援センターへ訪問サービスを実施(2025.1.24 スタッフ含め10人)
64		★入院中の子どもたちを含む医療ケア児等へのサービスの研究	中央図書館・病院	【令和6年度(2024年度)】 7月に「小さき花の園」へ施設訪問し、ニーズ調査を行った。11月、訪問サービスを実施。おはなし会を、入院中の子どもと通所サービス利用者に分け、3回行い、施設スタッフ含めのべ30人が参加した。また、図書館のおはなし会に入院中の子が参加する道をさぐった。

65		★【新規】海外にルーツのある子どもたちへのサービス(外国語絵本を所蔵していることのPRやブックスタートでの多言語絵本の配布、支援団体との連携など)	中央図書館	【令和5年度(2023年度)海外にルーツのある親子を支援しているNPO法人まるまーと連携し、「第2回図書館をたのしもう!」を開催。やさしい日本語での図書館案内や節分のおはなし会などを行った(2024.1.23 12人)。 【令和6年度(2024年度)NPO法人まるまーと連携し、ファンタスティックライブラリーで「世界のことば、世界のおはなし」を実施(2024.12.2 51人)。ブックスタートでは、多言語絵本を配付できる体制を整えた。
66		★手話付きなどバリアフリーおはなし会や多言語でのおはなし会や、多文化サービスの充実	中央図書館	【令和5年度(2023年度)】手話付きおはなし会を3種類実施。①障害福祉課から手話通訳者を派遣(2回)、②鎌倉女子大学手話部との連携(1回)、③神奈川県聴覚障害者連盟から聾者と手話通訳者の派遣(1回)。 【令和6年度(2024年度)】手話付きおはなし会を2種類実施。①障害福祉課から手話通訳者を派遣(4回)②鎌倉女子大学手話部との連携(2回)。 ファンタスティック☆ライブラリーで多言語でのおはなし会「世界のことば、世界のおはなしwithまるまー」を実施(2024.12 51人)。
67	紙とデジタル情報の活用について	★【新規】モデル校を設定し、紙資料とデジタル資料を併用した調べ学習の検討	中央図書館・教育指導課・小学校・中学校	—
68		★【新規】電子書籍の導入の検討	中央図書館	検討をすすめている。
69		★【新規】Wi-Fi環境の整備の検討	中央図書館	中央図書館に令和6年(2024年)6月からWi-Fi環境が整った。各地域館にも拡大できるか検討中。
70		★【新規】教員や図書館司書を対象とした情報リテラシー研修の実施	中央図書館・教育指導課	鎌倉市教職員対象図書館実務研修で外部講師を招いて研修を実施した。 【令和5年度(2023年度)情報リテラシー研修を実施(2023.7 32人)。 【令和6年度(2024年度)「紙資料とデジタル資料によるハイブリッドな情報活用について」「デジタルシチズンシップについて」講座を行った(2024.8 19人)。
71		★【新規】子どもたち自身が様々な媒体を使って、自律的な学習ができるようサポート	中央図書館・教育指導課	—

第5次鎌倉市子ども読書活動推進計画 重点事業と具体的な取組（案）

第4次計画の目標、基本方針を第5次計画でも踏襲するという前提で、重点事業と具体的な取組について、たたき台となる案を作成しました。今後、連絡会議委員のみなさまのご意見や、国や県の子どもの読書に関する計画や、文部科学省が令和6年（2024年）10月に複雑化した社会情勢のなか図書館・学校図書館の運営について検討するために設置した「図書館・学校図書館の運営の充実に係る有識者会議」の動向をふまえ、追加・修正など行っていきます。

1 読書バリアフリー環境の推進

- ・ 読書バリアフリーについて、広く知ってもらう取組
- ・ バリアフリー図書の拡充
- ・ 「バリアフリー図書パック」の作成
- ・ 海外にルーツのある子どもたちへのサービスの提供
- ・ バリアフリーおはなし会の実施（手話つきおはなし会、世界のおはなし会など）
- ・ 電子書籍の導入の検討

※第4次計画で取り組んできた読書バリアフリーを、第5次計画では、さらに推進させていきます。

2 情報活用のスキルの向上

- ・ 紙とデジタルを併用した学習の研究
- ・ 子どもの居場所となる施設のWi-Fi環境の充実
- ・ 子どもたち自身が様々な媒体を使って、自律的な学習ができるようサポート

※第4次計画では「紙資料とデジタル資料によるハイブリッドな情報活用」に取り組みましたが、第5次計画では、紙とデジタルを併用した情報スキルについて、子どもやその周りの大人たちがさらに活用できるよう研究していきます。

3 子どもに関わる施設や団体と連携した読書活動支援

- ・ 中高生が読書に関する情報を自ら発信する場づくりやイベントの開催
- ・ 学校図書館の蔵書の充実
- ・ 利用しやすい学校図書館づくり
- ・ 学校図書館との連携や司書教諭、学校司書との合同研修の実施
- ・ 図書館を利用しづらい子どもたちのニーズにあわせたサービス提供

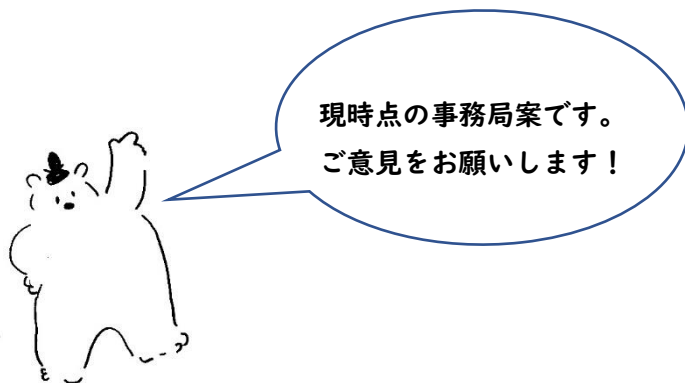
※第4次計画では、学校と連携してビブリオバトルの開催をしたり、特別なニーズのある子どもたちの施設へ訪問し、ニーズを調査し、施設と連携したサービスを展開してきました。第5次計画では、施設や団体と連携し、更なる読書活動支援に取り組んでいきます。

4 新しい図書館の整備に向けた施設・サービスの検討

- ・ 子どもたちの意見も取り入れた居場所としての「図書館」づくり
- ・ 新市庁舎への図書館複合化において、個々のニーズに応えるゾーニングの検討

※鎌倉市では、新市庁舎へ深沢図書館が複合化される計画があります。また、その後、現在市役所がある場所に行政サービス、中央図書館や生涯学習センターの機能を備えた市民中心の場をつくる計画があります。まだ「鎌倉市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例」が議会で可決されておらず、早くても新庁舎の工事の着工が令和10年（2028年）以降、開庁は令和13年（2031年）以降の予定となっております。

第4次計画では、利用者や連絡会議委員のみなさまからいただいた意見をもとに、職員で作成した要望書を市街地整備課に提出しています。引き続き検討していく事項となりますが、第5次計画が5年とすると、令和8年（2026年）4月～令和13年（2031年）の計画となります。着工が遅れた場合は第5次計画期間にも新しい図書館ができていないことも考えられますが、引き続き重点事業として考えてよいかなども含め、ご意見をいただければと思います。



「外国人保護者に聞く「絵本」～第2回 母語の絵本を考える会～」に参加して

標記の会が開催されることを知り、少人数の会とのことで、事務局中野が業務外で参加しましたので紹介します。

日時：2025/1/14（火）10：00～12：00

場所：東京ボランティア・市民活動センター

（東京都新宿区神楽河岸1-1 飯田橋セントラルプラザ10階）

対象：日本に暮らす外国人親子にむけた母語の絵本の出版・制作・普及について一緒に考え取り組んでくださる方

主催：NPOブックスタート

内容：①外国人保護者へのインタビュー

保護者：ベトナム、中国、ネパール、インドネシア、ブラジル

インタビュアー：千葉美香さん（児童書編集者）

子どもへの読み聞かせ経験、日本の絵本に関する感想を聞く

②質疑応答・情報交換

得られた情報：

（1）インタビューから特記事項

- ・絵本の登場人物が日本人（アジア人）のみであるように感じられる。また、習慣も日本のものがほとんどである。世界の習慣等も紹介される絵本があったら子どもたち同士もわかりあえる場面が増えるのではないかな。
- ・言葉がわからないと、情報がどこにあるのかがわからない。例えば街角にあるポスターにわかる言語で書かれたものがあって子育て情報を知る事も。
- ・ひらがなで書かれた絵本を、意味がわからないまま子どもに読んでいた。子どもが保育園に行っても色々なことを覚えてくる中で、絵本に描いてあることの意味がわかった
- ・これから日本で暮らすので、子どもには、絵本に描いてあるものを日本語で何と言うかをまずは伝えたい。その次に、母国語で何と言うかを伝えてあげると、子どもにとって良いのではないかと自分は思う
- ・翻訳のシールが別にあったり、保護者が自分で翻訳した文章を書き込めたりといった方法もあるかもしれない
- ・シールだとその絵本の世界を崩す場合もあるから最初から訳されていると尚良い。

（2）質疑応答から

- ・イギリスのブックスタートでは母語＋英語の2言語併記の絵本（[Mantra Lingua 社](#)）を保護者の希望に応じて配付している。

[Bookstart Baby, Bookstart Treasure and dual-language books | BookTrust](#)

- ・Mother's Tree Japan より、「世界赤ちゃん祭り」等イベント情報や取組について

- ・数十カ国語の赤ちゃん絵本が出版され、ブックスタートではそれがその方の母語に応じて配布されている。

- ・支援団体情報・有益情報

◆マザーツリージャパン

<https://mothers-Tree-Japan.org>

[Mother's Tree Japan | 日本にくらす外国人女性の産前産後サポートと多文化共生子育て](#)

[多文化共生子育てフェスティバル『世界赤ちゃん祭り』♪♪ |](#)

[Mother's Tree Japan | 日本にくらす外国人女性の産前産後サポートと多文化共生子育て](#)

◆ピナット～外国人支援ともだちネット

[ピナット ママ友カフェ](#)

◆図書館員のための「やさしい日本語」

- ・今年から鎌倉市でもブックスタート配布の絵本に訳語シール付き絵本を用意し、事前ネット申込みの際に、希望を聞いている。ネット申し込みの際に翻訳ソフトを使用することがあるかを尋ねたところ、翻訳ソフトはあまり使わないし、誤訳も多いとの回答だった。英語併記もしてはどうかとのアイデアもいただいた。

（3）今後における：今回の会は、NPO ブックスタートが、出版編集者に向け、多言語絵本をもっと出版してほしいということと、海外にルーツのある方が子育て中にどのようにしたら絵本と出会っていけるか、どんなものが望まれているかを、当事者を含め関係者で考えていこうとするものだった。今後も継続して意見交換されていくようだ。公共図書館の立場からこういった情報にアンテナを張り、連携していきたいと考える。

令和6年度（2024年度）第3回鎌倉市子ども読書活動推進計画に関する連絡会議

— 書面会議 質問事項 —

Ⅰ 第4次鎌倉市子ども読書活動推進計画の実施状況について

これまでの取組を振り返り課題を見つけるため、「取組事業一覧」（配付資料3）について、ご所属の施設等に関する項目の追加・修正をお願いします。

特に下記の点については必ずご確認ください。

■幼稚園・保育園・保育課…取組事業5、取組事業19について、ニーズがあるかどうか、実施するためのハードルに何があるか教えてください。

■青少年課…取組事業12について、図書館からの寄贈図書配布のほか、どのように蔵書を充実させているかご記入をお願いします。

■保育園・保育課…取組事業13について、図書館からの寄贈図書配布のほか、どのように蔵書を充実させているかご記入をお願いします。

■小学校・中学校・教育指導課…「2学校における取組」につきまして、追加や修正がありましたら、ご記入をお願いします。特に取組事業27について、学校で行っている取組があれば教えてください。また、取組事業67について、モデル校の設定はできなかったのですが、紙資料やデジタル資料を併用した授業はされているかと思います。授業での実例についてご記入をお願いします。

2 計画の目標、基本方針について

配付資料Ⅰに第4次鎌倉市子ども読書活動推進計画の目標と基本方針を示していますが、事務局としては、第5次計画でもこの目標と基本方針を踏襲していきたいと考えています。目標は第1次計画から、基本方針は第3次計画から変更がありません。目標と基本方針について、ご意見をご記入ください。

3 第5次鎌倉市子ども読書活動推進計画 重点事業と具体的な取組（案）について

鎌倉市教育委員会では、教育大綱を令和6年度中に改正予定です。教育大綱は5年間で、令和7年度中に現行の教育プラン・生涯学習プランに相当する教育振興基本計画を策定する予定です。この教育振興基本計画の行動指針(アクションプラン)に鎌倉市図書館サービス計画や鎌倉市子ども読書活動推進計画が入るかについて現在調整しているところです。検討中ですので、第5次鎌倉市子ども読書活動推進計画がどのような形になるかわかりませんが、第5次計画として、今後5年間の重点事業を考えていきます(配付資料4)。事務局案を作成しましたので、みなさんのご意見をお願いします。

(1) 読書バリアフリー環境の推進について

第4次計画では、読書バリアフリーの取組として、関連機関へのヒアリングを行い、どのように連携していくのかを検討し、訪問サービス、展示、施設利用者のグループでの来館やおはなし会などへとつなげていきました。

第5次計画でも読書バリアフリーについては重要項目の一つに考えています。今後推進していくにあたって、お気づきの点があれば、挙げてください。

(2) 情報活用スキルの向上について

第4次計画では、紙資料とデジタル資料のハイブリットな情報活用について、重点事業として取組み、情報リテラシーや紙とデジタルを併用した学習の研究について、教職員向けの研修を行いました。一方で、デジタル先進国において、デジタルから紙資料へ学習方法を変更するという報道もあり、今後も研究が必要です。今後も、紙資料・デジタル資料をどのように活用していくかについて、何かお気づきの点があれば、挙げてください。

(3) 子どもに関わる施設や団体との連携した読書活動支援について

第4次計画では、学校と連携して、ヤングアダルト世代のビブリオバトルを行ったり、NPO法人まるまーと連携して、海外にルーツのある子どもたちへイベントを開催してきました。また、子育て支援センター、放課後かまくらっ子など、子どもに関わる施設との連携をすることで、子どもを取り巻く読書環境の向上に努めてきました。

第5次計画では築いてきた連携を深め、子どもたちの読書活動支援を充実させていきたいと思っています。何か、お気づきの点があれば、挙げてください。

(4) 新しい図書館の整備に向けた施設・サービスの検討について

第4次計画では、新しい図書館の整備について要望書を市街地整備課に提出しましたが、引き続きゾーニングの検討については取り組んでいきます。新しい図書館の完成は早くて令和13年(2031年)となりますが、このまま重点事業として考えてよいかなども含め、ご意見があれば、お寄せください。

(5) このほかに、重点事業にいったほうがいいと思う取組があれば、教えてください。

4 子どもたち当事者の意見の反映をするためにこんなことをしたらいいというご意見がありましたら、ご提案お願いいたします。

5 その他のお気づきのご意見、書ききれなかったご意見は下記や別紙などへお書きいただければと思います。